

2015年2月9日

報道機関各位

株式会社阪急阪神エクスプレス  
阪急電鉄株式会社  
阪神電気鉄道株式会社  
阪急阪神ホールディングス株式会社

阪急阪神ホールディングスグループ  
インドネシア共和国における倉庫の建設について  
～アセアン地域でのさらなる事業拡大を目指します～



(完成イメージ)

阪急阪神ホールディングスグループでは、国際輸送事業を担う阪急阪神エクスプレス、阪急電鉄及び阪神電気鉄道3社が共同で設立した現地法人「阪急阪神ロジスティクス インドネシア」により、インドネシア共和国ジャカルタ近郊で、当グループ所有の物流倉庫を建設します。

当グループは、中期経営計画における事業戦略の一つに「中長期的な成長に向けた新たなマーケット（首都圏・海外等）の開拓」を掲げて取り組んでおり、このうち、海外マーケットについては、特にめざましい発展を遂げているアセアン（東南アジア諸国連合）地域での事業規模の拡大を図ります。

今回のプロジェクトは、国際輸送事業の規模拡大に向けて、アセアン地域内でも成長著しいインドネシアにおいて自社グループ施設として効率的かつ機動的に利用できる物流拠点を設けるもので、これを活用し、同国内外でのフォワーディング業務を担う「阪急阪神エクスプレス インドネシア」とともに、一貫した物流ネットワークのさらなる充実と、顧客ニーズに応じた高品質なロジスティクスサービスの提供を実現させます。建設する物流倉庫は2015年3月に着工し、2016年1月からの運営開始を予定しています。

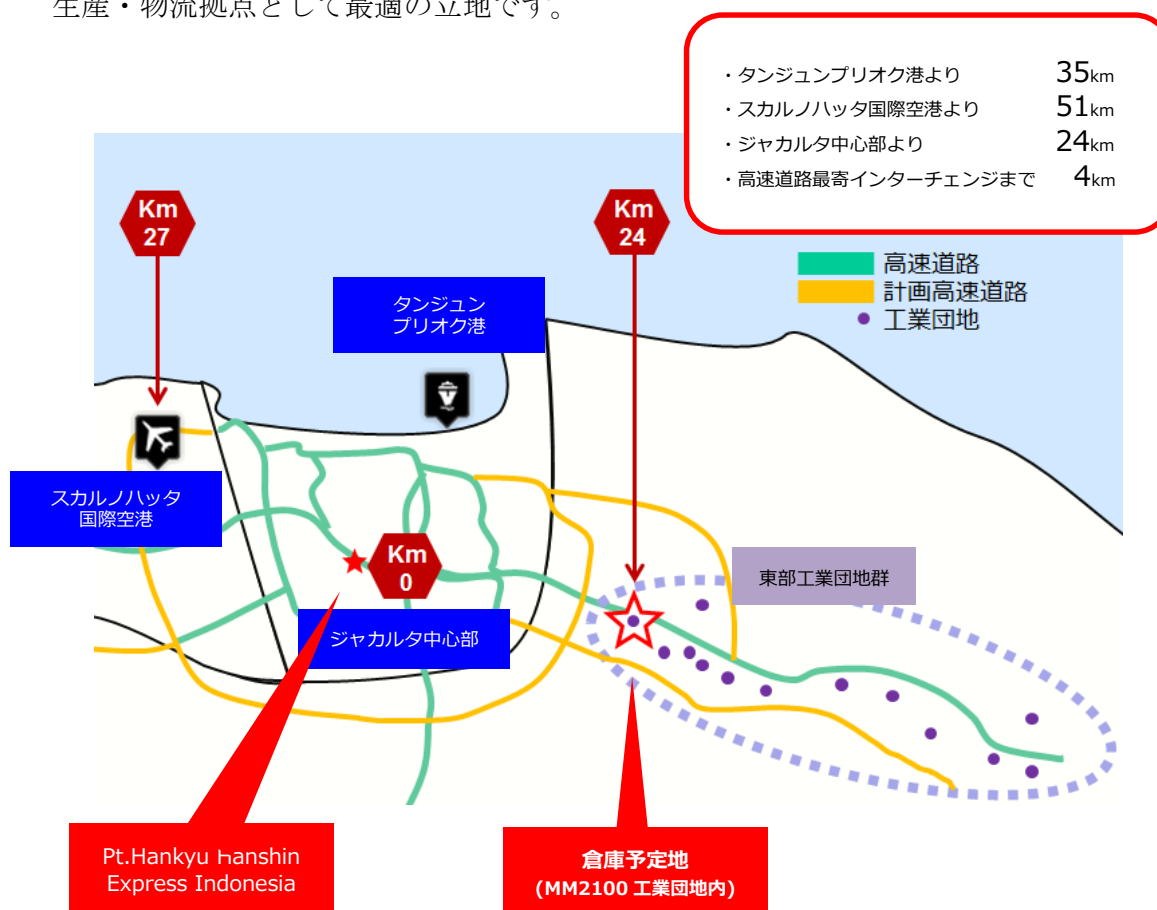
また、阪急電鉄及び阪神電気鉄道では、今回のプロジェクトを契機として、アセアン地域での不動産事業に関する情報収集及び事業機会の探索等を強化していきます。

今回のプロジェクトの概要は次のとおりです。

### 1. 施設概要

所在地	インドネシア西ジャワ州ブカシ県 MM2100工業団地 Kawasan Industrial MM2100, Jl. Bali Blok O-1-2, Cikarang Barat, Bekasi 17520 West Java, Indonesia
敷地面積	18,210 m <sup>2</sup>
延床面積	11,855 m <sup>2</sup> (鉄筋コンクリート造・平屋造)
主要設備	接車バース12箇所 (ドックレベラー12基)、低温設備
主な取扱商材	自動車部品関連、医療機器、電子部品、日用品
着工	2015年3月
竣工予定	2015年12月

倉庫予定地は、ジャカルタに最も近いMM2100工業団地 (すでに日系企業を中心に約180社の企業が入居・操業) に位置し、港及び空港からのアクセスも非常に良く、生産・物流拠点として最適の立地です。



## 2. 会社概要

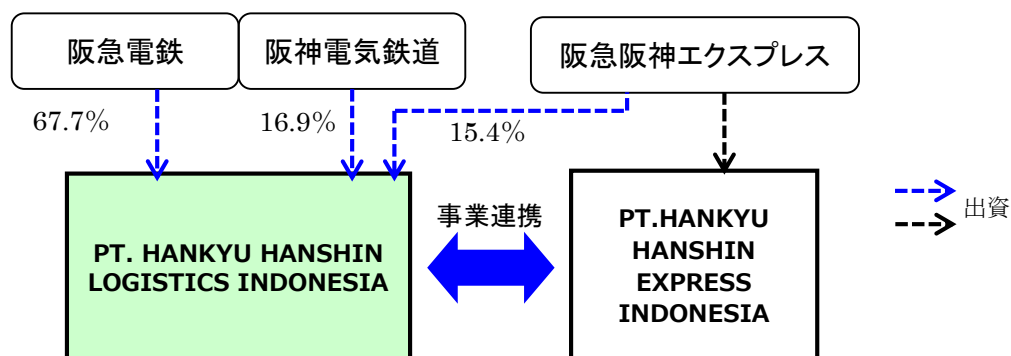
### ロジスティック会社

名 称	PT. HANKYU HANSHIN LOGISTICS INDONESIA (阪急阪神ロジスティクス インドネシア)
代 表 者	岡本博之
本 社	インドネシア西ジャワ州ブカシ県 MM2100 工業団地
事 業 内 容	倉庫業、冷蔵・冷凍倉庫業
資 本 金	13百万 US ドル
出 資 比 率	阪急阪神エクスプレス 15.4% 阪急電鉄 67.7% 阪神電気鉄道 16.9%
設 立	2014年8月

### フォワーディング会社

名 称	PT.HANKYU HANSHIN EXPRESS INDONESIA (阪急阪神エクスプレス インドネシア)
代 表 者	岡本博之
本 社	インドネシア・ジャカルタ特別州
事 業 内 容	航空貨物・海運貨物運送業、通関業
資 本 金	400千 US ドル
出 資 比 率	阪急阪神エクスプレス 50.0% HANKYU HANSHIN EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD. 10.0% PT. Monang Sianipar Abadi 40.0%
設 立	2006年3月

### 【ご参考】資本関係イメージ他



以 上

【リリース配付先】国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、近畿電鉄記者クラブ、青灯クラブ、大阪建設記者クラブ

＜本件に関するお問い合わせ先＞

阪急阪神ホールディングス株式会社 広報部 TEL : 06-6373-5092  
株式会社阪急阪神エクスプレス 総務人事部 広報課 TEL : 03-6745-1450